

明中瓦版

令和7年9月号

小中一貫校 彩和学園
富田林市立明治池中学校
校長 堤 周作



明中の熱い(暑い)夏!

尋常でない猛暑、私の小学生時代は朝から夕まで庭球野球を4試合、中学生時代は部活で水分禁止、今や考えられないです。その頃に比べ5℃以上は気温が高くなっているように思えます。そんな中、汗を流し技術や体力を高めようと努力する部活の生徒たちや顧問の先生に感心していました。そこで3年生の引退前に「お疲れ様」の意味を込め、全ての部の試合や練習を参観・応援に行きました(陸上部は9月に)。精悍な表情の子、機敏な動きの子、一生懸命にチームをサポートしている子、猛暑でも応援に来て下さっている保護者様など、校内ではわからない明中が見られて楽しかったです。部活に加入していない生徒も、校外での活動や習い事、勉強等で、それぞれ努力していたことでしょう。この異常な夏を乗り越えた全ての生徒に、「みんなよくやった!」と労ってあげたいです。

8/6(水)平和登校、前半は3年生の沖縄修学旅行の報告と平和記念公園で行った平和セレモニーを披露。市の幼小中教員研修として参観していた教員は「メッセージに生徒の思いがこもっていた、詩の群読、合唱も素晴らしい!」。後半は、私の前任校第三中出身の俳優“谷ノ上朋美”さんをお招きし、沖縄戦をテーマにした一人芝居“ゆんたくしましようね”を上演。沖縄戦で、9人の親兄弟姉妹家族全員を一瞬に失った祖母を持つ谷ノ上さんが、自分のルーツをたどる中で感じた実体験を基に作られた一人芝居。沖縄の人々の過酷すぎる苦しみを学んだ3年生にとっても、これから沖縄修学旅行に行く1,2年生にとっても貴重な経験になったと思います。谷ノ上さんからは「公演を温かく迎えて下さり誠にありがとうございました。生徒さんの発表も、公演も集中して観てくれて、命の重さや戦争の悲しみをそれぞれの心で受け止めようとしてくれているのを感じ、とても感動致しました。こうした時間を持てた事、心より感謝申し上げます(後略)」

7/18(金)終業式、体育館前に自動販売機を設置しました。検討を重ねた生徒会本部が、7/7に自販機設置の要望書を持参し、その訴えを明中全教員で聞きました。私たちは真剣に話し合い、「学校にお金を持ってくる事に伴う様々なトラブルや、ごみの処分方法等…」を懸念。これらの懸念に対し、生徒会本部は「ルールを作り生徒みんなで守るので許可してほしい。売上の10円分はマゴツスクールに寄付したい」等を説明。そこで私たちは「生徒全員がこのルールを守り、しんどくなる子がでないならば、明中生を信じて生徒会の思いに応えよう」「今回のルールを守ろうとする思いは今の生徒には伝わっている。しかし3年生が卒業し時間が経てばこの思いが薄れ、心配する事件が起こるかもしれない。そうならないよう今の1,2年生が、今回の思いやルールを次の世代に引き継いでいってほしい」と伝え、設置を許可しました。保護者様もご来校の際は、明中の生徒・教員の思いがこもった自販機を、是非ご活用下さい。

「さいワン」が描かれた自販機 下は校務員の石橋さんが手作りのこ

